



## 2023年の朝鮮半島情勢を展望する

◇2022年は朝鮮にとってどのような年だったのか

2022年の北東アジア国際情勢を俯瞰してみよう。

米国・バイデン政権は、「**一国主義**」を貫く対外政策を敷いた。中国に照準を定めたインド太平洋戦略、ロシアの徹底的弱体化を狙う対ウクライナ支援政策を背景に、米ソ冷戦当時を彷彿させる緊張が続き、それは地政学的に北東アジアの中心部に位置する朝鮮半島情勢にも否応なく影響を及ぼした。

朝鮮は、2022年を「**前代未聞のあらゆる挑戦と脅威に満ちた年**」「**有史以来最大の試練の年**」だったと総括した。（党中央委員会第8期第6回総会拡大会議）



その中でこそ、国の核武力政策を法制化し、国家の戦略的地位を全世界に明白に刻印させなければならなかったのである。世界政治構図の変化を主導する見地を持つこと、ここに、国家発展の軌道を新たな高みに引き上げるカギがあると見たのである。

朝鮮の国是である自主を貫くためには、アメリカ主導の『**一国主義**』政策を打開せねばならず、それは朝鮮半島を中心とする北東アジアにて具体的行動として示されている。米・日・韓の**三角軍事同盟**の新たな発展段階ともいえる昨年3者の行動がこれを如実に表しているだろう。

表では『迎撃のためのミサイル配備』としながら、裏ではアメリカ発の『侵略のための戦略武器』を大々的に国内に放り込み、それをひとたびの戦争に匹敵する戦力を動員しながら演習でもって消費する。『斬首作戦』の再開、『平壤占領作戦』の開始、自衛隊の演習参加、三角軍事同盟はもはや『**アメリカの核の傘**』に守られる戦略ではなく、アメリカの『**一国主義**』を貫く装置として作動しているのだ。



朝鮮の自主を貫くためには『**一国主義**』の打開が必須。しかしその『**一国主義**』政策は新たな段階で、朝鮮の目の前を舞台としながら発展していつている。このような矛盾に満ちた歴史的転換の瞬間こそが2022年の朝鮮半島であった。

### ◇核武力法制化にいたった経緯

朝鮮での**核武力法制化**がなされた。その内容を見てみると、その任務は第一に戦争抑止、平和安定守護にある。朝鮮が明示した「**核ドクトリン（核抑止の3大条件（3C））**」は①意思伝達(Communication)②能力(Capability)③信頼性(Credibility)から成る。要は、核保有国同士の話し合いによって、戦争を抑止し、平和安定の守護に努めることに力を注ぐということである。

これによる抑止力が働かなくなった場合がありうる。（今はまさにその状況である）その場合、第二の使命が別のものになる。すなわち、戦術核による先制攻撃能力。自主のためならば、戦争も辞さない。これまで朝鮮半島での戦争を想定してきた米国とその追随勢力にとって、これはとてつもない抑止力となりうる。もちろん対朝鮮侵路の長年の脅威を根源から除去する真の抑止力を備えるために越えなければならないハードル、これから立ち上がる障壁も少なくはないだろう。



しかし、刮目すべきは朝鮮が2022年末に『戦争状況を終わらせる』一手を刺した、ということだ。

2017年11月、ICBM試射の成功を持って戦争状況は『強制終了』されるものと見た朝鮮は、2018年以降米国・南との対話の場に躍り出ることにある。そうせざるをえない状況を作ったのである。（1995年を考えると奇跡であろう）

しかし、これをもってしても三角軍事同盟の新段階を迎えることで朝鮮を抑えられと敵対勢力は打算している。（それが今の現情勢を作っている）

その状況を打破するための楔となったことは間違いないだろう。



## ◇2023年と朝鮮

さて、2023年に朝鮮は何をするのか。今年には祖国解放戦争勝利70周年、共和国創建75周年を迎える「**偉大な転換の年、変革の年**」。

まずは、**経済発展の問題**。全般的なレベルの構築、経済の要となるエネルギー資源の確保、インフラの整備など、立ち遅れた部門のボトムアップをすることとなる。プラスこれまでの発展段階に応じた新たな取り組みに乗り出すであろう。

とりわけ、**国防科学発展及び武器システム開発5カ年計画（今年が3年目）の最重要課題の一つ**である（通信傍受様能を含む）偵察衛星の完成のために尽力するとある。衛星打上が成功すると太平洋上の反朝鮮軍事情報をリアルタイムで掌握できるようになる。この国防政策の成功は、過程をみると真理性と生命力があると断定できるだろう。

しかし、西側のメディアは国民の福利と経済を犠牲にして人権を抑圧する「常軌を逸した専制国家」と大々的に喧伝しているし、これからもするだろう。

2023年を「**変曲点（歴史の転換）とするというものが朝鮮政策のキモ**である。23年の朝鮮半島情勢は厳しく険しいものとなろう。北南関係の冷え込み（全面対決の様相）、経済建設もいまだ自力による発展にしか期待できない。

しかし、この状況を転換させるための一手を打った朝鮮の道は『**前進**』しかない。この道の果ては自主でありその自主を享受するものは朝鮮人民であり、在日同胞でもある。

青商会も地に足をつけ、同胞たちと子どもたちの安全を守り、先駆者として汗をかいていこう。

（中央青商会）

## 愛知・名港地域青商会

1/14(土)、安英学氏をお招きし、名古屋朝鮮初級学にて子どもたちとフットサルを一緒に楽しむ貴重な機会を提供しました。



Instagram



#青商会

## 埼玉県青商会

第30回全国クラブラグビーフットボール大会に出場中の大阪闘球団千里馬クラブの応援に駆けつけた埼玉県青商会が、チームにボディメンテを差し入れました。



Facebook



#新時代\_魂

で繋がろう

## 兵庫県青商会

1月23日、24日にかけて神戸朝高2年生を対象にした〈Because〉ツアーが開催されました。同胞達の明るい未来のために全力で走ってまいります！



Facebook





今月号も必見！朝青紹介コーナー！  
朝青から青商会へ、未来へのバトン繋いでいきましょう！

各分野で活躍するスーパーセセデたちを紹介！

# Sesede's Interview



グローバルエリート学部  
**崔鈴昌**

プロフィール  
ちえ・りょんちゃん/  
2003年生 / 東京第1初中・朝高卒 /  
延世大学に留学中 /  
ゴルフ、サウナが趣味

東京朝高を卒業し、現在「大韓民国」延世大学でグローバルエリート学部で学ぶリョンチャンさん。初の海外長期滞在。住民登録、身元証明、役所とのコミュニケーション、全ての経験が一苦労だったと素直な留学体験を語ってくれた。もともと朝大で朝鮮半島情勢や在日朝鮮人運動の発展について学びたかったリョンチャンさんは、家庭の意向もあり、またとない機会をチャンスにすべく留学の道を選んだ。志を共にした友らの朝大の話を知り、どんどん自分との差が開いていくように焦りや不安も芽生えたという。言語、歴史認識、在日朝鮮人の存在認識など様々な壁にぶつかる中で、自分のアイデンティティを保ち支えてくれたのは朝青支部だと語るリョンチャンさん。

現在「韓国」にある寮で生活しながら、朝青東京都本部荒川支部の日暮里班の役員として月一回の会議にリモートで出席している。政治学習やイベント企画、同級生への呼びかけなど自分ができることをこなし、在日社会に足をつけながら生活することを心がけているという。そのほかに月一回の朝青での読書会にも積極的に参加し、着々と広い知識と見識を身につけていっている頼もしい大学一年生である。将来は朝大の研究員に進むことも視野に入れていて、在日社会の発展に貢献し、未来を担う人材として自分を高めていきたいと力強く語るリョンチャンさん。学ぶ場所は違えど、仲間と誓い合った志を忘れず自らの意志を貫く姿に、尊敬の念を抱くと同時に強く鼓舞されたインタビューであった。

## Let's検索! 今月のセセデword

SDGsとは



SDGsは持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の略。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年を年限とする17の国際目標。SDGsでは「貧困」「差別」「環境問題」といった課題を克服し、「誰ひとり取り残さない」持続可能な社会の実現を目指すとし、17の目標の下に169のターゲット、231の指標が決められている。世界のこういった流れから、環境や社会に配慮し、社会的課題に適切に取り組んでいる事業に投資をしようというESG (Environment Social Governance) 投資という考え方も広まっている。

## 【今月の朝青PICK UP!】

広 chochong.hiroshiyama



1/10(日)に3年ぶりとなる「広島同胞新春モイム」が行われました！  
1部では新春講演会、2部の成人式典では二十歳を迎えた13名の同胞青年たちを祝い、会場内は終始祝福の拍手と笑顔でいっぱいでした。  
3部の祝宴会では「腕相撲大会」や朝青員たちによる祝賀公演も披露され会場は大盛り上がり！いつも朝青のために物心両面でお力添えをくださる広島・中四国同胞の皆様へ、この場を借りてお礼申し上げます。  
本当にコマッスムニダ！  
朝青広島では同胞第一主義を掲げ広島同胞社会を盛り上げるための大小イベントをこれからも意欲的に開催していく決意です。まずは夏開催予定での、広島では8年ぶりとなる大納涼祭に向けてさらに突っ走りましょう！

#朝青広島  
#飛躍の年・躍動の年  
#青年たちの力  
#언제나 동포청년들과 함께  
#25期



### 相互扶助

ビジネス界を活躍の場とする  
人々の中で同胞経済人を育成



### 機会共有

会員同士の交流・情報交換を通じて  
顧客や新規ビジネスを獲得



### 全国展開

全国各地で経済メリットを提供する  
経済部会立ち上げの端緒



## 青商会ネットワークをビジネスネットワークへと！

#### ■ KYC+ 定例会（6月を除く偶数月第3水曜日開催・年5回）

会員1～2名が自身の事業内容についてメインプレゼンを行い参加者がレスポンスをすることで、異業種交流・情報交換・営業活動を幅広くできるようにします。最終月（12月）にはオフライン交流会を行います。（オンライン参加も可）

#### ■ コリビジ・オンライン・ラボラトリー（1月を除く奇数月第3水曜日開催・年5回）

年5回コラボを開催し、オンラインにてセミナーと異業種交流を行います。※有料制

#### ■ 大異業種交流会（年1回）

毎年6月、常設会参加者＋参加希望同胞ビジネスマンによる名刺交換会、課題提出会、解決事例発表会などで、異業種交流会を開催します。

#### ■ 事業承継事業と絡めた起業支援

事業承継案件を共有し、起業意思のある会員たちとマッチングします。コラボにてM&Aに関する勉強会なども同時開催します。

#### ■ 起業を目指す仲間たちとの情報共有・情報提供

起業を考えている仲間たちで常時情報交換を可能にし、zoom 交流会を不定期開催します。

#### ■ 事業マッチング・人材マッチング

KYC+を通じて全国規模での共同事業や人材紹介などを推し進めていけるよう、情報収集を徹底します。



申込フォーム

### 参加資格

1. 青商会員（またはKYC+会員となった場合、青商会員となる。）
2. 年会費 ¥12,000 を支払ったもの  
(なお、当該地方青商会に会費を支払っていない場合、¥24,000 を徴収し、当該地方にKYC+事務局が年会費 ¥12,000 を納める。)
3. KYC+会員は、青商会卒業と同時に会員資格を消失するが、オープンセミナーや大異業種交流会などへの参加案内を優先的にするものとする。
4. 青商会対象年齢より若い場合も、KYC+に入会することができる。ただし、事務局から当該団体（朝青や留学同など）に対して確認をとり、承認を得るものとする。
5. 限定一回、トライアル参加制度を設けることとする。（メインプレゼンはできない。）



■ 住所：〒110-0005 東京都台東区上野 7-2-6

■ TEL：03-3844-1998

■ E-mail：kycchuo@gmail.com